

たすけあい名古屋

通信第112号



元気な地域づくりに向けて



少子・高齢化。今、日本社会が直面している大きな問題です。高齢化の進展に伴い様々な問題が発生してきます。「安心して暮らすことのできる地域を作りたい」これはたすけあい名古屋の理念でもあります、そのために大事なことは何でしょうか？

生活支援サービスの一つとしての福祉有償運送（移動サービス）を行っている団体は愛知県でもそれほど多くはありません。福祉有償運送（移動サービス）とは、単独では移動困難な高齢者、障がい者を対象にボランティアにより自宅から病院などに送迎するサービスです。これら団体の集まりが「NPO 法人移動ネットあいち」です。ボランティアとはいえドライバーを担う方の安全運転教育・講習は「移動ネットあいち」の大きな役割の一つです。たすけあい名古屋のドライバーはすべてこの安全運転教育・講習を受けています。また「移動ネットあいち」では今年新たに組織・役員の再編を行い、愛知県の福祉団体の

移動サービスの質の向上にむけ、5月29日に南生協病院でセミナーを開催しました。かつてはNPOの行う移動サービスは「白タク」であるとも批難され、国のお墨付きをもらうまでに長い道のりがありましたが、いまではタクシー業界からの理解も得てそれぞれの役割を担っています。



福祉有償運送（移動サービス）

元気で暮らし、安心して外出ができることは、引き籠りを防ぎます。たすけあい名古屋の「おひさまカフェ」もまずは外へ出ていただくという趣旨で始めていますが、さらに、もう少し範囲を広げて自分の行きたい所へ行きたいときに外へ出ていただくお手伝いができると思います。



おひさまカフェ

従来、福祉有償運送のご利用には介護保険の介護認定を受けていなければならなかったのですが、この4月の介護保険法改正により、住人相互のたすけあい活動の一つとして行うことが提案されています。名古屋市では平成28年6月からの実施が予定されています。



健康体操教室

たすけあい名古屋は介護保険事業に加え、生活支援サービスの暮らし助け合いと福祉有償運送（移動サービス）、グラウンドゴルフ、健康体操教室、卓球教室、おひさまカフェなどを通して、地域の皆さまの健康維持、安心して暮らすことのできる元気な地域作りに力を注いでいます。



（代表理事 西川 達夫）



たすけあい名古屋主催講演会

かん き ほ

姜琪鎬医師「在宅医の医師アタマの中身」

～「訪問医療と地域包括ケア」から学ぶもの～



正会員 鳴子地域住民 木村 浩二



講演会の様子

5月25日（月）鳴子集会所でたすけあい名古屋の総会が行われた後、午後7時から「みどり訪問クリニックの姜医師」の講演会が行われました。

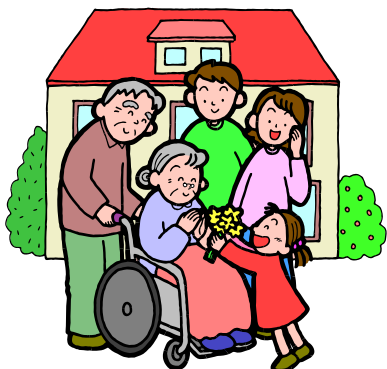
たすけあい名古屋の職員以外に地域住民も多く参加して、50名程の方が画面を見ながら姜医師の説明を熱心に聞き入りました。

地域包括ケアの段階が地域住民の安心感をベースにするようになって新しい段階になったことの説明は、これまでの行政的な色彩が強いイメージだったのが、住民主体の活動に取り戻す作業であることが確認できて非常に良かったです。

それは、訪問医療において顕著です。病院と開業医中心の「待ちの医療」から、住民の在宅に医師が出向くことは、患者が住む家が医療の現場になることを意味しています。看取りも自宅が舞台になってきます。介護の世界では当たり前になっている訪問の世界に、医療が遅ればせながら追いついてきたのです。

このことは同時に医師中心の医療から、看護師や保健師、ケアマネ、ヘルパー、管理栄養士、歯科医との連携が必要になってきたことも意味します。医師だけでは患者の生活の全体像の中での医療ができないからです。介護の出番がまた増えてくると実感しました。

それと地域包括ケアには、緑市民病院の24時間体制の医療がバックアップしてくれる追い風が緑区には吹いています。訪問医療と訪問介護や看護師、管理栄養士などとの線につながっていた連携プレーが、IT技術を利用することで次第に緑区全体の面に進みつつあるのでしょう。



緑区には地域ケア会議がもう発足して多職種連携が話されているようです。鳴子にはなごやかモデルの未来医療人育成プロジェクトが地域住民の中に入りつつあります。鳴子きずなの会も住民による住民のための活動です。今鳴子地域は地域包括ケアに現実につながろうとしています。名古屋市も鳴子地域を生活支援サービスの重要拠点と明言しています。姜医師の活動は鳴子をはじめとした地域住民の住民主体の医療、看護、介護の世界につながって来ることを実感しました。

姜医師「自宅で死にたいのではない。死ぬまで自宅で生きたいのだ」



デイサービス鳴子だより

5月の11日～16日、平針の農業センターへ出かけました。デイサービス鳴子をご利用してくださっている皆さんに外出していただくため、5日間にわたって交代で、毎日



おいしいね！

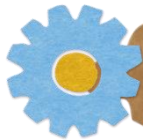
でかけました。幸い天候に恵まれ、皆さんに楽しんでいただくことができました。ピンクに咲き誇るブーゲンビレア



農業センターにて

はとっても綺麗！久しぶりに見る牛や大きな豚には、びっくりでしたね。車椅子で回られる方、お仲間と交代で車椅子をご利用される方、スタッフが車椅子を勧めても、ベンチで休憩をとりながら頑張っておられた方もみえました。何より皆さんと一緒に分け合って食べたアイスクリームが最高でしたね！

(管理者 須原 久美子)



障がい者総合支援だより

入梅の報に気を曇らせる今日この頃、植物にとっては恵みの季節ですね。生活介護のん・たんとは、種から育てた季節ごとの花・野菜の苗の販売を始めました。毎日ご利用者とお水をあげたり、手入れをしたりと丹精込めて育てた苗が芽を出すごとに皆で喜んで、「大きくなーれ」と苗に語りかけています。今では常時10種類以上の苗を用意しております。

また、毎週水曜日にプロ仕様のデッキオーブンで、ご利用者とシフォンケーキ・マフィン・スコーン等の焼き菓子を作り、今では季節のフルーツや野菜を使用した風味・香りを味わえる商品も作っています。

販売は、**区役所で第2・4木曜日、徳重支所で第1・3・5木曜日と第2・4金曜日**に行っています。もちろん注文もお受けしています。

ご利用者は、作る部隊・販売部隊とそれぞれの場で活躍され、「マフィンいっぱい作ったよ！」「全部売れたよ！」と笑顔いっぱいに報告して下さいます。

苗も焼き菓子も一つ一つに想いが詰まっているなど感じています。

(生活介護のん・たん 西谷 星良)

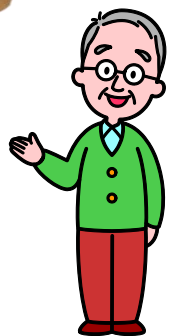


焼き菓子・苗 販売中！



鳴子のおひさま (小規模多機能型居宅介護施設) だより

「鳴子のおひさま」では、2ヶ月に1度「運営推進会議」を開催しています。参加者はご利用者及びご家族、地域住民の代表、サービスについて知見を有する者の3分野から構成され、今回も主治医の先生をはじめ施設側担当者等10名の参加を得て開催されました。会議の内容は、活動状況の報告をし、出席の委員からその評価と助言をいただきました。



お知らせ

4月からの介護保険の改訂に伴い

☆要支援者も含め「鳴子のおひさま」のご利用者以外の方でも「緊急時の短期利用や宿泊」が出来るようになりました。

☆従来より取り組んできました「看取り」をさらに充実したものにしていきます。

(管理者 坂倉 行人)



健康体操・卓球・グラウンドゴルフ・スポーツ吹矢だより

健康体操では「健康体操をやるようになってからよく歩けるようになった。」「公園の階段を上るのに、以前は娘にお尻を押してもらわなければ上れなかったが、体操を続けている今では楽に上れるようになった。」「疲れなくなった。」「来ているみんなと仲間になれて楽しい」など多くの喜びの声が寄せられています。

また、卓球クラブでは「足の動きがよくなってつまづくことが減った」「みんなと楽しくプレーでき、少し上達もし、うれしくなった。」「いろいろな情報交換もまた楽しい」などの話題が。

スポーツ吹矢では5月から月に2回の教室が始まり、徐々に継続的な参加者が増えつつあります。

グラウンドゴルフも週に2回のプレーが盛り上がり、参加者も15～18人と輪が益々ひろがっており、新たに参加希望の方も大歓迎です。

これからも仲間と一緒に楽しみましょう。

(指導員責任者 吉葉 俊治)



健康体操教室の皆さん

一緒に
働きませんか？



常勤・パート職員を募集しています。ご希望の方、または知人等で関心のある方をご紹介頂ける方は、事務局までお電話下さい。詳細は面談時にご説明します。

募集職種

- ✧ 「鳴子のおひさま」小規模多機能型居宅介護施設職員 (要資格ヘルパー2級以上)
- ✧ 「介護みどり」訪問介護ヘルパー (要資格ヘルパー2級以上)
- ✧ サービス提供責任者 (要資格介護福祉士)

お気軽にお電話ください。

☎ 892-0080 (高橋まで)

熱中症予防

これからの季節、熱中症が心配になってきます。みんなが少し意識を変えるだけで、熱中症は防げます。次の5つのことに気を付けてみましょう！

湿度に気をくぼろう (気温だけではなく)
飲み物を持ち歩こう
休息をとろう
栄養をとろう
声をかけ合おう (高齢者や子ども達に)



ホームページをご覧ください

たすけあい名古屋

検索



特定非営利活動法人 (認定NPO法人) たすけあい名古屋

代表理事 西川 達夫

〒458-0041 名古屋市緑区鳴子町四丁目13番地 愛知県住宅供給公社鳴子第1住宅

TEL 052-899-0833 FAX 052-899-0800

Eメールアドレス: info@tasukeainagoya.com